昭和24年12月27日第3種郵便物認可

日刊（土・日・祝日除く）　©産業新聞社2022年

いつでもどこでも
日刊産業新聞DIGITAL
PC・スマホ・タブレットで産業新聞まるごと読める
まずは2週間の無料試読から
https://www.japanmetal.com/pre-order

発行所　産業新聞社
東京本社 東京都中央区新川1−16−14
TEL 03(5566)8770㈹　FAX 03(5566)8185
大阪本社 大阪市西区阿波座1−3−15
TEL 06(7733)7001㈹　FAX 06(7733)7070
アジア総局 上海市婁山関路85号 東方国際大厦C座1604室
上海支局 TEL 86-21-6278-7750　FAX 86-21-6278-7751

日刊 産業新聞
Japan Metal Bulletin

2022年（令和4年）
9月21日（水）
第20527号
Since1936

トータルリサイクル 収集運搬・処分
ISO14001取得 自動車リサイクル
ヤマショー金属株式会社
愛知県小牧市大字三ツ渕字西池田195番地1
TEL.（0568）73−4028
■弥富工場
愛知県弥富市楠1−8
TEL.（0567）68−6116
■リサイクル小牧工場
愛知県小牧市大字文津字神子300
TEL.（0568）74−2811

インドにAG専用工場

黒崎播磨

鋼材高品質化の重要製品

総合耐火物メーカー、黒崎播磨（本社＝北九州市、江川和宏社長）のインド子会社、TRL Krosakiは本年3月にAG（アルミナグラファイト）工場を建設し、操業をスタートした。現在は品質確性試験を実施中で、顧客の認可取得後に出荷が本格化する。

TRL KrosakiのAG工場

生産品種は高品質な鉄鋼生産に欠かせない、浸漬ノズル、薄スラブ用浸漬ノズル、ロングノズル、モノブロックストッパー、タンディッシュ用上ノズルから同社株式51%を取得しグループ入り。現在の出資比率は78%。黒崎播磨からの技術導入を進め、耐火物の現地生産比率の向上と高品質化、グローバル市場への販路拡大など、現在ではアジア地区の一大生産拠点となっている。

2021年におけるインドの粗鋼生産量は1億2000万㌧で、19年比10%増加している。さらなる鋼材需要が求められており、これに伴い粗鋼生産量は30年に3億㌧が見込まれている。

同社はこうした需要を取り込むため、相次いで設備投資を実施。鋼材の品質を左右するAG製品専用工場が完成したことで、インドにおける世界品質の鉄鋼生産に寄与していく。

鋼材加工センター（型鋼、鋼管、非鉄）
3次元レーザー加工
試作から量産品まで短納期対応
12Mまで加工可能
麻布成形株式会社
ISO9001/14001 認証取得
TEL 047-354-8211
http://www.az-azabu.com

ヤマトスチール10月出荷
H形販価据え置き
10契一般形も

ヤマトスチール（本社＝兵庫県姫路市、山内靖彦社長）は20日、10月出荷分の店売り向けH形鋼販売価格を前月比据え置きにすると発表した。10月契約分の一般形鋼（溝形鋼・I形鋼）価格も前月分から据え置く。販価据え置きはH形鋼と溝形鋼が4カ月連続、I形鋼は5カ月連続。

電炉主原料となる鉄スクラップ価格が指標品のH2でトン当たり5万円前後と再び高騰している。電力・ガスなどのエネルギーコストも大幅に上昇しており、「コストに関する動向を見極めたい」（同）として販価を据え置いた。

製品の申し込み締め切りは今月27日まで。H形鋼の引受数量は前月の申し込み実績を上限とする。主力の物件向けH形鋼については大形の建築案件が堅調なことなどを背景に「10月ロール（生産分）までの注文が埋まっており、新規見積もり分は今年11月から来年1月の対応になる」（同）という。鋼矢板は9月が5000㌧、10月は3500㌧の生産・販売を計画している。

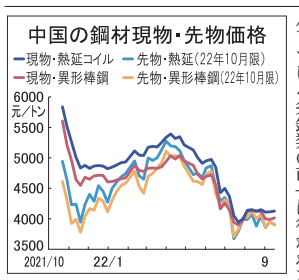
中国鋼材市況が上昇基調
需要期迎え荷動き上向く

【上海支局】夏場に下落した中国の鋼材市況が9月に上昇基調を示している。秋の需要期を迎えて鋼材の荷動きが上向き、市中の鋼材在庫が減り続けている。ただ、不動産市場の低迷やゼロコロナ政策による各地の移動制限など需要の勢いは鈍く、鋼材市況の上昇幅は限定的。鉄鋼メーカーが需要増を見込んで生産を増やし、製鉄所内の在庫が急増しており、需給や市況に影響しかねない。

市中在庫が大きく減少している条鋼類の市況の上昇が鮮明化した。異形棒鋼は上海で先週末にトン4040元（約8万1000円、増値税込）と前週比80元高で3週ぶりに上がり、北京や天津、南京、広州など多くの地域で上がった。政府のインフラ投資による土木需要の動きと夏場のメーカーの減産が条鋼中心に行われたことで需給が締まったようだ。

在庫の減少が小幅だった鋼板類の市況も徐々に上がってきた。熱延コイル市況は上海で3960元と2週連続、北京で4070元と3週連続で横ばいだったが、瀋陽や南京、武漢などで上げに転じた。冷延は上海で4430元と前週比40元高で6週ぶりに上昇。北京は横ばいだったが、西安や広州は上がり、底打ちから上昇の局面に移ってきた。

粗鋼生産は8月にわずかに増え、9月上旬も増え続けた。政府の減産方針でいずれ生産調整は行われる公算が大きいが、需要はさえず、需給の行方は不透明。不動産市場が復調する気配はみえず、需給はメーカーの生産調整に左右される状況が続きそうだ。



台風14号の操業影響なし
九州地区鉄鋼業

台風14号は18日午後7時頃鹿児島県に上陸、九州を北上し19日まで影響を与えた。九州地区の鉄鋼業では工場の屋根や壁のパネルが飛んだり穴が空いたりする被害が発生したが、操業への影響はなかった。

鈴木　和子氏（すずき・かずこ＝鈴木鋼材監査役）病気療養中のところ18日死去、66歳。葬儀は家族葬で執り行う予定。喪主は夫の正通（まさみち）氏（鈴木鋼材社長）。

大和リース・東鉄・ナベショー
金属サンドイッチパネル
再資源化スキーム確立

大和ハウスグループの大和リースと電炉大手の東京製鉄、鉄スクラップ専業商社大手のナベショー（本社＝大阪市、渡邊泰博会長兼社長）は20日、3社共同で使用済みとなったリース用の金属サンドイッチパネルの再資源化に取り組むと発表した。大和リースが従来産業廃棄物として処分していた金属サンドイッチパネルをナベショーの流通ネットワークを活用し、東鉄の電炉工場向けに鉄源として供給。その量に応じて大和リースは東鉄から鋼材を購入するなどの再資源化スキームを構築する。

きょう21日に3社で「建材アップサイクルコンソーシアム」協定を締結する。循環型経済（サーキュラーエコノミー）の実現へ機運が高まる中、3社で処理困難物として取り扱われてきた金属サンドイッチパネルの再資源化に取り組み、CO_2や廃棄物の排出削減などにつなげる。

金属サンドイッチパネルの再資源化に向けては2020年8月からトライアルを開始し、21年5月から本格的に再資源化スキームの運用を始めた。大和リースが建物リユースシステムを運用する「デポ」と呼ばれる14の物流拠点のうち、まずは栃木二宮デポ（栃木県真岡市）、千葉長南デポ（千葉県長生郡）、滋賀水口デポ（滋賀県甲賀市）、福岡デポ（福岡県田川郡）の4拠点を対象に再資源化へと取り組む。

プレス加工された使用済みの金属サンドイッチパネル

デポ4拠点から排出される使用済みの金属サンドイッチパネルは、ナベショーが東鉄に鉄源として納入されるまでの物流・加工処理フローの管理を担う。ナベショーが提携する全国各地の鉄スクラップ業者が金属サンドイッチパネルを荷降してプレス加工後、東鉄の宇都宮・田原・九州工場のいずれかに納入する。

3社の協定締結で排出元や受け入れ先、流通商社といった各社の役割を構築し流通ルートを明確化することなどにより、円滑に再資源化スキームを運用することが可能になるとし、今後は対象拠点をデポ4カ所から10カ所への拡大を目指すとともに、再資源化の対象となるサンドイッチパネルの種類を広げることも検討するという。

大和リースでは26年度の温室効果ガス（GHG）排出量を15年度比86%削減することを目標に掲げており、使用済みリース用金属サンドイッチパネルについては23年に96%を再資源化したい考え。「今回の取り組みは出口戦略の第一歩。より深く、可能性を広げていきたい」（岩田悟・大和リース執行役員）と期待する。

東京製鉄は今回の取り組みについて「循環型経済（サーキュラーエコノミー）の実現に貢献するだけでなく、製造時のCO_2排出量が高炉鋼材の約4分の1である電炉鋼材が使用されることから『脱炭素社会』の実現と50年のカーボンニュートラル達成にも貢献することが可能で、顧客との協働を通じた非常に有意義な取り組み」としている。

H形鋼Wサイズ JIS
SM・SN規格取得
東京製鉄

東京製鉄は20日、H形鋼のWサイズ「428㍉×407㍉×20㍉×35㍉」について、9月20日付でSM規格（JISG3106）とSN規格（JISG3136）のJIS（日本産業規格）認証を取得したと発表した。10月1日から生産を開始する。SS規格については21年6月22日付で取得済み。

「428㍉×407㍉×20㍉×35㍉」は九州工場（北九州市若松区）で生産し、主に土木関連工事の基礎杭として使用される。足元は脱炭素社会構築の動きが加速している。カーボンニュートラルを促進する脱炭素鋼材としての電炉H形鋼は建設分野での期待も大きく、地下構造物への採用拡大に向けて、東京製鉄への要請が高まっていることから、規格拡大を実現したもの。東鉄は建築構造物の柱材としての採用も想定している。

中部地区
鉄スクラップ市況反落
1カ月半ぶりメーカー買値下げ

中部地区の鉄スクラップ市況は反落した。前週17日から特殊鋼メーカーなど複数社がトン1000円の値下げを実施し、市中価格も値下がりした。域内メーカーによる値下げは約1カ月半ぶり。海外マーケットの軟化で新規輸出商談が振るわない中、地区相場の高値観が強まっていたことなどが背景にあり、高値調整の意味合いが強い。地区電炉炉前購入価格は、指標品でトン4万9500−5万1000円前後。新断で同5万1000−5万3000円前後。地区市況に影響の大きい東京製鉄田原工場や同名古屋サテライトに値動きがなかったことで、下値が切り下がった格好（9月20日時点）。

域内需要は特殊鋼メーカーなどで堅調だが、9日実施の関東テンダー以降、輸出マーケットが盛り上がりを欠き、市中にも一段の先高気運が乏しかったことでメーカー入荷が高い水準だった。そのため目先は、全国的にメーカー需要が落ち着くシルバーウイーク明けの輸出商談動向などを注視する展開。

JR観光列車に意匠性チタン
九州「ふたつ星4047」
日本製鉄

日本製鉄は20日、意匠性チタンTranTixxii（トランティクシー）が、JR九州の観光列車「ふたつ星4047」の外装に採用されたと発表した。チタンの列車への採用は世界初。同製品のゴールド意匠が車体の金色のラインに用いられ、西九州の美しい自然に映える車体デザインに貢献している。

加工は同社の基本仕上げを基礎に、東洋ステンレス研磨工業が最終仕上げを実施した。ふたつ星4047は、佐賀県や長崎県を通る西九州新幹線の開業に合わせて運行が開始される。

JR九州と同列車の設計監修担当のドーンデザイン研究所から、チタンの軽量高強度や長寿命といった優れた素材特性が認められた。さらにトランティクシー独自の意匠性や美しさが経年変化しない特性を評価され、採用に至った。

トランティクシーは高級感ある外装表現と、メンテナンス負荷やライフサイクルコストの最小化など環境特性を両立する。同社は鉄道車両のほか、航空機や船舶などモビリティー全般の高級外装への普及に取り組んでいる。

車両の金色のラインに意匠性チタンが採用（JR九州提供）

きょうの紙面

12面　非鉄ニュース
東邦亜鉛、鉛専用船が竣工

3面　鉄鋼ニュース
3カ年中期方針を初策定
古賀オールはこのほど、2025年3月期を最終年度とする中期3カ年経営方針を策定した。3カ年方針の策定は創業以来初めて。

2面　鉄鋼ニュース
資源高で切板需要停滞

5面　北日本ネットワーク
丸中中里商店トラック増車

マーケット情報

外為TTS	20日10時	三菱UFJ銀行
ドル	144.28	↘
ユーロ	145.27	↘
人民元	20.75	↘
LME相場	現地19日セツル、ドル	
銅	7772.0	↘
アルミ	2232.0	↘
ニッケル	24610.0	↗
亜鉛	3145.0	↗
東証終値	20日、円	
27,688.42	120.77	↗
日本製鉄	2,251.0	↗
JFEHD	1,470.0	↗
神戸製鋼	646.0	↗
〈6面に主要企業株価欄〉		
鉄スクラップ総合価格	20日調べ、円	
H2	50,400	↘
新断バラ	52,500	↘
鉄スクラップ湾岸価格	関東地区、円	
H2	49,500↗−51,000	
バルチック海運指数	現地19日	
—		
WTI原油先物	中心限月、現地19日、ドル	
85.73		↗
中国先物市場	中心限月、現地19日、元	
異形棒鋼	3714	↗
熱延鋼板	3779	↗
中国輸入鉄鉱石湾岸価格	現地19日、ドル	
（CISA調べ）	96.92	↘

PROGRESS 100 百年企業へ
https://www.japanmetal.com/

金属春秋

2022.9.21

コロナ禍での行動制限が解除され、経済の正常化が進む中、企業業績は回復軌道をたどっている。財務省の4−6月期法人企業統計によると、全産業（金融業、保険業を除く）の売上高は336兆9597億円（前年同期比7・2%増）、経常利益は28兆3181億円（同17・6%増）と増加した。6期連続の前年同期比増で、経常利益額は過去最高となったという▼原材料高や部品などサプライチェーンの混乱、円安の中でも業績を伸ばした▼製造業を見ると、売上高99兆8122億円（同6・1%増）、経常利益11兆2260億円（同11・7%増）と伸展。このうち鉄鋼は、売上高5兆1188億円（同20・7%増）、経常利益6024億円（同75・3%増）と、高い伸びを示した▼製造業では部品調達や原燃料・資源の高騰などリスク要因を抱える中で、一定程度の価格転嫁を実施、売り上げ、利益を増加させている▼全産業の設備投資も10兆6108億円（同4・6%増）と増えた。業績向上が脱炭素、省力化など次を見据えた設備投資に生かされる格好だ。

UKMetal 浦野商事株式会社
東京都世田谷区代田6−14−3
TEL & FAX：03-4500-6916
https://uk-metal.com/scrap

ホームページ リニューアルしました
https://hase-p.co.jp
カラー角・カラーC
グレー角・グレーC
黒角・黒C
STK・SGP
スモール角
軽量H・軽ミゾ
長谷川パイプ
千葉県浦安市港31 ☎047-354-7111

産業新聞 パソコンで見る保存紙
2002年〜2022年（8月）
好評発売中!!
DVD-ROM縮刷版
1ヵ月単位=定価:本体5,170円（送料別）6ヶ月以上購入で割引
○ 記事検索機能（文字列）　○ プリント出力出来ます
※記事・写真のコピー、変更は出来ません
○ CD-ROMをご希望の場合は、CD希望とお伝えください。
● お申し込み・お問い合わせ先　株式会社 産業新聞社 IT事業局
TEL:06-7733-7050　FAX:06-7733-7070　media@sangyo.co.jp